城の防御：石落

天守閣の下にある石垣に到達した敵を攻撃するために、床に開けた穴のことを「石落」という。石落しには、人や物が落ちないように木の板が張られていることが多いが、万一、攻撃された場合には取り外すことができる。

石落は、城の防御の死角となる角に設けられるのが一般的だが、松本城では角と角の間地点にも開口部が設けられている。石垣の基礎は約 57°と比較的緩やかな傾斜になっており、強敵ならこれを乗り越えることも可能であったと考えられる。これらのさらなる石落としを設けることによって、多角的な防御が可能になったのである。

石落という名称は、兵士が石を落とすために使用したことを意味するが、開口部はかなり狭く、そのような使い方はしなかったと思われる。もし松本城が攻撃されたなら、弓や火縄銃のために石落としを有効活用したことだろう。